

Medical Technology News

臨床検査室新聞

LOOK



検査結果を正しく出すために

血液、尿などの検査の大半は、自動分析装置によって行われています。これらの装置は常に正しい結果を出すと思われがちですが、実際には装置や、試薬の状態によって変わってしまうことがあり、チェックが必要です。

このときに使われる手法が「**精度管理**」で、内部精度管理と外部精度管理の2種類があります。

内部精度管理は、毎日同じ試料を測定することにより、結果が他の日と大きく変わっていないかを調べます。

外部精度管理は、同じ試料を他院の検査施設で同時に測定し、測定結果が他の施設と異なるかを調べます。測定結果が異なる場合は、機械の問題が原因なのか、測定方法の問題なのか、改善処置を講じます。

外部精度管理は、同じ試料を他院の検査施設で同時に測定し、測定結果が他の施設と異なるかを調べます。測定結果が異なる場合は、機械の問題が原因なのか、測定方法の問題なのか、改善処置を講じます。

★当院検査室は、精度保証施設に認定されています。



新年あけましておめでとうございます。来院の皆さま、また職員の方々の皆様には平素よりご指導ご鞭撻を賜りこの場をおかりして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年検査室においては何れも嬉しいことばかりがありました。それは新しい仲間を迎え、個性あふれる素敵な三人と出会うことが出来たことです。まさに新元号「令和」の時代にふさわしい幕開け、希望を繋ぐことが出来た一年と云えましょう。

現在、検査業界では認

知症領域検査技師の育成や在宅業務の推進、またがんゲノム医療分野など、より患者さんによりそう検査業務の参画に取り組んでいます。当検査室においては地域に必要な医療の一端として出来る事、今後も精度の高い検査データを迅速に提供し、将来は在宅において町民の皆さんに何らかの形で役に立てる医療を提供したいと模索しているところでございます。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

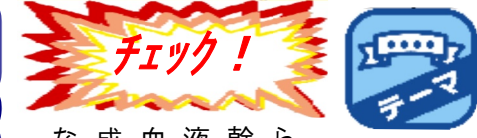
「平成」という時代が終わり新元号「令和」の時代、今年はおリンピックも開催されますし、未来に希望をもち活気に溢れた



2020年 1月
第86号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



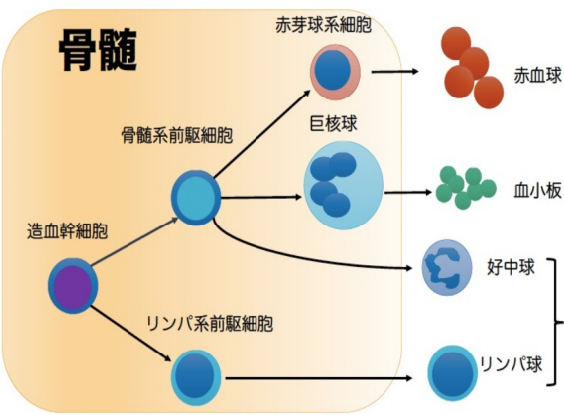
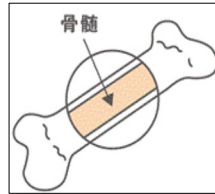
年に、また穏やかに情緒豊かに時を刻んでほしいと願います。皆さまにとりまして令和二年良い年となり心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



骨髄の構造と働き

骨髄は、骨の中にある柔らかい組織で、ここで造血幹細胞から様々な系統の血液細胞が造られています。血液細胞の他に血液細胞の成熟を助ける骨髄間質細胞なども含まれています。

骨髄は、主に体の中心部にある背骨(椎体骨)、胸骨、あるいは骨盤の骨(腸骨)に存在しています。骨髄中に存在する造血幹細胞は、



ほと time

オリンピックイヤーでもある令和二年はねずみ年。「ねずみ」は十二支の1番目です。十二支が初めてスタートする年、心機一転にか新しいことにチャレンジしてみたいかがでしよう。



検査の基本

尿検査の最低必要量

- 尿一般定性検査のみ(蛋白・糖・潜血など10項目) **2cc**
- 尿一般定性検査 + 沈渣 **10cc**
- 尿培養検査のみ(定量培養を含む) **10cc**
- ☆ 生化学検査、細胞診検査など追加検査の可能性も考慮し、尿は可能な限り**10cc以上**の提出をお願いします。



編集後記

今年はいつもとより暖かく、雪が少ない冬です。雪かきの回数が少なくて楽ですが道路はベチャベチャで、子供が雪で遊べないので休日困っています。ほとほとに暮ってほしいなあ。